

合併までの西伯町 SAIHAKU TOWN



初の町長・町議会議員誕生（昭和30年）

昭和30年3月30日、天津・大国・法勝寺・上長田・東長田の5か村が合併し、西伯町が誕生しました。

「西伯町」という町名は、西伯郡名にちなんで、町制実施にあたって従来の地域感情にとらわれない西伯地区の象徴として選ばれたものです。

町内のいたるところに丘陵が起伏し、これを源として日野川水系の法勝寺川・東長田川が流れ、流域に集落が分布しています。流域上流は農林業地帯、下流は沖積層の平野で、2つの河川が合流する町中心は、古くは宿場町として栄え、町の産業・文化の中心となっています。



西伯町役場 新庁舎落成
(昭和32年5月)



西伯町消防団全国表彰（昭和36年）



西伯病院 病院周辺の風景
(昭和38年頃)



さよなら法勝寺電車、サヨナラ電車は最終18時5分に発車した（昭和42年5月）



小・中学校の給食開始 西伯小学校（昭和44年9月）





法勝寺高等学校、赤碕高等学校等 生徒募集停止反対
(昭和 45 年 1 月)



町に寄贈された法勝寺電車が西伯小学校に設置される
(昭和 45 年)



プロ野球「西武ライオンズ」に入団が決定
した野口裕美選手が来庁(昭和 57 年 12 月)



長田神社 神幸式 時代行列
(昭和 58 年 4 月)



「西伯町歌」「西伯音頭」制定記念発
表会 (昭和 59 年 11 月)



第 40 回国民体育大会秋季大会(わかとり国体)
ライフル射撃競技開始式 (昭和 60 年 10 月)



湖の底を走る「賀祥ダム湖底健康
マラソン」開催 (昭和 63 年 10 月)



賀祥ダム竣工式 (平成元年 3 月)



法勝寺歌舞伎公演 (平成 2 年 8 月)



法勝寺花まつり (平成 6 年 4 月)



板祐生記念館「祐生出会いの館」オー
プン (平成 7 年 11 月)



緑水湖オートキャンプ場・こもれび
工房オープン (平成 11 年 5 月)



鳥取県西部地震 (平成 12 年 10 月)



特別養護老人ホーム「ゆうらく」が
完成 (平成 15 年 4 月)

合併までの会見町 AIMI TOWN



第1回会見町成人式（昭和31年1月）

昭和30年3月31日、旧手間村に旧幡郷村の西原、諸木を合併し、同年4月25日に隣接する手間村、賀野村の合併が行われ、会見町が誕生しました。

「会見町」の町名は、歴史的な会見郷の名にちなんで名づけられました。

河川は東南から北西に流れる朝鍋川と、南から北に流れる小松谷川が町の中央で合流し、1級河川の日野川の支流法勝寺川に合流し、日本海に注いでいます。東・西・南の三方をなだらかな山々に囲まれた、豊かな自然環境と景観に恵まれた農村地帯です。



南部中学校竣工（昭和43年4月）



会見第二小学校創立100周年記念
音楽会開催（昭和48年6月）



第5回会見町文化祭
（昭和50年11月）



会見町畜産品評会（昭和57年8月）



国体旗・炬火リレー隊、会見町通過（昭和60年10月）





第1回会見町まつり 特別企画の時代行列
(昭和61年11月)



町制施行30周年・庁舎竣工記念式 (昭和62年12月)



三角縁神獣鏡 普段寺山古墳1号墳出土 国指定重要文化財 (昭和63年)



第1回町民ソフトバレーボール大会
(平成3年9月)



オンライン始動式 窓口業務のコンピュータ処理 (平成4年1月)



全国柿の種吹きとばし大会
(平成4年11月)



米子南部カントリーエレベーター竣工
(平成6年7月)



町制施行40周年記念事業国際交流「日中友好砂漠緑化青年団」を中国へ派遣 (平成7年7月)



富有の里会見町マスコットのぬいぐるみが完成 (平成7年7月)



町制施行40周年記念 会見町民歌「ふるさとほみどり」制作発表会 (平成7年10月)



鳥取県西部地震 避難所
(平成12年10月)



朝鍋ダム定礎式 (平成14年9月)



ジャパンフラワーフェスティバル2003 in とっとり花回廊開催 (平成15年10月)



小松谷盆踊り 平成7年4月に鳥取県無形民俗文化財に指定 (平成16年)



南部町誕生までの道のり

合併に向けた動き

平成11年7月、中央集権から地方分権への政治体制の転換の動きと、国・都道府県・市町村の財政難によって、国による市町村合併推進の方針が打ち出され、地方分権の推進を図るための関係法律整備等に関する法律（地方分権一括法）が交付され、併せて市町村の合併の特例に関する法律（合併特例法）が一部改正されました。

これによって市町村合併の動きが全国的に高まり、鳥取県でも平成12年12月、鳥取県から市町村合併についての考え方として、県内市町村それぞれに複数の合併パターンが示されました。

西伯町・会見町は、合併を検討するための基礎資料を作成するため、行財政についての調査・検討を共同で行いました。また、各市町村の行政内容の比較資料の作成や市町村合併の効果・問題点を話し合うため平成13年7月に設置された「県西部四町合併問題研究会（西伯町・会見町・岸本町・溝口町）」、「西部地域振興協議会合併問題等勉強会（西部14市町村）」に参加し、合併についての調査・分析が進められました。12月両会の調査・分析結果が報告書にまとめられ、各参加市町村長に提出されました。

平成14年6月定例議会で西伯・会見両町長が西部4町合併の方針を表明し、7月に会見町議会の呼びかけで「西部四町議会懇談会（西伯町・会見町・岸本町・溝口町）」が設置され、合併問題について議会同士の研究が行われました。

しかし、同年10月に岸本町が米子市との合併方針を表明し、11月には溝口町が岸本町と同一歩調を取る方針を表明したため、西部四町議会懇談会は解散し、西部4町合併の動きは停止しました。

西部4町合併の活動停止により、両町で新たな合併の枠組みが模索され、西伯町・会見町2町での合併方針が打ち出されました。



市町村合併特集号（会見町）

合併に対する会見町の方針や、平成14年12月2日「町民一人ひとりの意見を大切にしたい町民本位の合併を求める会」が町に提出した住民アンケート実施を求める要望書に対する見解が掲載されました。（A4版6頁）

平成14年12月の区長文書で全戸配布されましたが、町民の要望によって平成15年2月に再配布されました。



集落別の懇談会（西伯町）

西伯町で平成14年7月から71集落で開催された集落懇談会には町民967人が出席し、出席者に合併に関する意向調査（アンケート）が行われました。（942人が回答）

集落懇談会の概要とアンケート結果については、平成14年8月に広報さいはくに掲載されました。



西伯町・会見町合併協議会

平成 14 年 12 月 25 日両町臨時議会で合併協議会設置に関する議案が議決され、西伯町と会見町の合併協議を行うための法定協議会が平成 15 年 1 月 14 日に発足しました。

合併協議会は、合併協議会・まちづくり委員会・幹事会・専門部会・事務局で構成され、協議決定は合併協議会委員の全員一致で行われました。

平成 15 年 1 月 14 日に行った第 1 回から、平成 16 年 9 月 22 日の第 30 回まで両町の合併に関する事項約 1,880 項目を協議しました。



合併協議会委員 会見町役場



第 10 回合併協議会 西伯町役場
(平成 15 年 8 月 27 日)



第 17 回合併協議会
平成 15 年 12 月 6 日協議会委員の全員一致で、
新町名が南部町に決定しました。

まちづくり委員会

西伯町・会見町合併後のまちづくり計画（新町建設計画）の作成について住民からの意見・提案を取り入れようと、平成 15 年 2 月 18 日から 3 月 31 日までの期間、18 歳以上の住民を対象に各町 50 人ずつの委員を公募し、まちづくり委員会が組織されました。

平成 15 年 5 月 18 日の第 1 回委員会では、まちづくり委員会の運営やまちづくり計画の作成についての説明がなされ、6 月 12・15 日に両町内をバスで回る第 2 回委員会が行われ、その後、委員は総務企画・住民福祉・産業経済・建設水道・教育の 5 つの部会に分かれてそれぞれの分野について合併協議会事務局から提案された原案をもとに話し合いを行いました。



第 1 回まちづくり委員会 プラザ西伯
(平成 15 年 5 月 18 日)



合併協定調印式

西伯町・会見町合併協議会での主要項目の協議が終了し、平成 16 年 2 月 26 日プラザ西伯で、合併協定書調印式が行われました。

約 150 人の見守る中、合併協議会で協議した 23 項目 49 小項目の協定が記載された 2 冊の合併協定書に署名・押印し、合併協議会委員を代表して両町議会議長が立会人として署名を行いました。

続いて主催者の両町長、会見町議会議長の挨拶をはじめ、鳥取県知事など来賓からの祝辞をいただき、万歳三唱で調印式は閉式しました。

調印の終了後には新町の名前となった「南部町」の名称提案者 13 人への感謝状贈呈が行われ、両町を拠点に活動する藤間美香さんの日本舞踊や伊勢大神楽講社の皆さんによる神楽のアトラクションが披露されました。



調印後、握手を交わす鳥取県知事と
両町の町長、議長

閉町式

西伯町と会見町は平成 16 年 9 月 30 日に半世紀にわたった町制に幕を閉じることになり、両町で町制施行 50 周年記念式典と閉町式が行われました。



西伯町町制施行 50 周年記念式典

平成 16 年 6 月 13 日西伯町町制施行 50 周年記念式典がふるさと交流センターで行われ、約 300 人が出席しました。式では町の行政振興に功績のあった 18 人と 10 団体、1 企業、職員勤続者 19 人に表彰状が贈られ、さまざまな分野で活躍された 9 人と 19 団体に感謝状が贈られました。

9 月 30 日には、庁舎の銘板取り外し式と閉町式が行われました。閉町式では、町歌斉唱、感謝状及び記念品の贈呈、町旗降納、挨拶などが行われました。午後 8 時から、町長が町民へ防災行政無線を通じ、閉町のメッセージが放送されました。



会見町町制施行 50 周年記念式典及び閉町式

平成 16 年 9 月 23 日会見町町制施行 50 周年記念式典及び閉町式が南部中学校で行われ、約 180 人が出席しました。式典では文化活動や地域活動などに功績のあった 137 人と 28 団体に表彰状・感謝状が贈られました。

9 月 30 日、会見町役場閉庁式は、午後 5 時 30 分から議員、職員が出席して役場 2 階で行われ、表彰状及び記念品の贈呈、町長及び退任者の挨拶が行われました。午後 7 時 30 分から、町長の閉町の挨拶が防災行政無線で放送されました。



開庁式

平成 16 年 10 月 1 日西伯町と会見町が合併し、南部町が誕生しました。南部町は県西部でトップを切ったの合併でした。

午前 8 時から南部町役場法勝寺庁舎で、午前 9 時から南部町役場天萬庁舎で開庁式が行われ、三鴨英輔南部町長職務執行者と来賓によるテープカット、銘板除幕式などで新町の発足を祝いました。

また、8 時 25 分から町民生活課窓口で電算使用開始式が行われ、三鴨英輔南部町長職務執行者が住民票を請求し、南部町の業務がスタートしました。

これより前の午前 6 時 45 分から、プラザ西伯に全職員が集合し、三鴨英輔南部町長職務執行者の挨拶の後、辞令を交付しました。



南部町町章制定

南部町の町章は、平成 16 年 12 月 7 日南部町町章選定委員会委員長から南部町長へ選定結果が報告され決定しました。

採用作品は、安部喜明さん（福岡県）の応募作品で南部町の「南」をモチーフに、町民がハートフルな気持ちを抱き、心豊かな町を表現。オレンジは太陽・柿、ピンクは豊かな気持ち・安心感・桜、青は澄み切った空・緑水湖を表しています。

町章の募集・選定は、まちづくり委員会第 2 ステージ第 1 小委員会の提言に沿って行われました。

